

令和4年第1回定例会

代表質問文書表

1	新	政	会	北浜	けんいち			
2	市	民	ク	ラ	ブ	いそむら	あきこ	
3	公	明	党	佐藤	しんじ			
4	日	本	共	産	党	岡田	まなぶ	
5	起	風	会	中	田	中		
6	改	革	稲	城	の	会	岩佐	ゆきひろ

稲城市議会

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	国際情勢の市民生活への影響について	
	施政方針の冒頭、国際情勢について、覇権主義的な行動を強める中国の動向等、不安定な情勢が続く一方、COP26では、気候変動対策に関して大きな一歩を踏み出したとあるが、これらの国際情勢を総括して、市民生活の影響をどのように捉えているか見解を伺います。	
2	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について	
	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の当市におけるレガシーと市民に与えた影響について伺います。	
3	国及び東京都の予算編成について	
	令和 4 年度の国及び東京都の一般会計予算は、いずれも過去最大の規模となり、税収も過去最高額の見込みとあるが、コロナ禍において、税収増になる事をどの様に分析し、この事による稲城市への影響について伺います。	
	本市の取り組みについて	
4	令和 4 年度の予算編成について	

	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中におきましても、必要な行政サービスの水準を確保しながら、事務、事業の見直しを一層徹底し、効率的、効果的な行財政運営に努め、2年目を迎える第五次稲城市長期総合計画を着実に進めていく事が求められます。とあるが、令和3年度の施政方針においては、本市の財政状況は、財政危機の一步手前であるアラート状態であると示されましたが、令和4年度予算を編成するにあたり、稲城市の財政はどのような状況にあるのか、見解を伺います。</p>	
5	<p>新型コロナウイルス感染症関連の予算について</p> <p>令和4年度予算編成において、新型コロナウイルス感染症から、市民の生命、生活を守ると共に、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中での行政課題に取り組む事を基本姿勢の第一にあげているが、新型コロナウイルス感染症関連として計上した予算額及びその主な内容について伺います。</p>	
	<p>1. 子育て・教育・文化～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城</p>	
6	<p>保育ニーズへの取り組みについて</p> <p>保育所等における医療的ケア児保育支援事業の内容について伺います。</p>	
7	<p>放課後の児童の健全育成事業への取り組みについて</p> <p>放課後の児童の健全育成事業への取り組み姿勢及び待機児童解消に向けての基本的な考えを伺います。</p>	
8	<p>向陽台小学校学童クラブ民営化について</p> <p>向陽台小学校の学童クラブの民営化による効果について伺います。</p>	

9	緊急対策としての学童クラブの受け入れ定員拡大について	
	緊急対策として、学童クラブの受け入れ定員の拡大に取り組むとの事ですが、その経緯と効果、今後の取り組みについて伺います。	
10	南山小学校の学童クラブについて	
	南山小学校の学童クラブの増築工事の設計委託を行うとの事ですが、経緯と今後の取り組みについて伺います。	
11	第三児童館の民営化と第三文化センター内に学童クラブを新設する事について	
	第三児童館の民営化にあわせ、第三文化センター内に学童クラブ新設に向けた準備を進めるとあるが、経緯と効果、今後の進め方について伺います。	
12	育ち育てる相談・支援体制としての産後ケア事業について	
	育ち育てる相談・支援体制の充実について、産後ケア事業の実施機関を拡充するとの事ですが、どの様に多様なニーズに対応していくのか、見解を伺います。	
13	子育て世帯臨時特別給付金の国事業の対象外になる児童への給付について	
	子育て世帯臨時特別給付金を国事業の対象外となる、令和4年4月1日生まれの児童に支給する事の経緯と効果、及び財源について伺います。	
14	コミュニティスクールについて	
	全小中学校をコミュニティスクールとする事の概要と効果、既存の地域教育懇談会との関係について伺います。	
15	教育の質の向上について	
	小学校における高度な専門性を持つ外部人材の活用について、その目的、人材の確保、勤務形態について伺います。また、一部の授業に活用とあるが内容について伺います。	
16	学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業のⅡ期工事について	

	学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業のⅡ期工事の概要と今後のスケジュールについて伺います。	
17	学校施設・設備の整備について	
	稲城第三小学校校舎建物の老朽化の状況の調査と今後の整備方針の検討スケジュールについて。また、稲城第二中学校の屋上防水及び外壁改修工事の設計について概要を伺います。	
18	市内小学校の普通教室の不足とその対応について	
	市内の普通教室の不足の見込みの状況と、稲城第四小学校、平尾小学校及び南山小学校への対応について市の見解と現時点でのスケジュールについて伺います。	
19	生涯学習の推進について	
	第四次稲城市生涯学習推進計画の策定について、計画の概要及び策定のスケジュールについて伺います。	
20	生涯学習の活動サポートについて	
	市民の生涯学習の拠点となる施設である、文化センターの改修について、城山文化センター空調設備改修工事及び中央文化センターホール増築棟屋上防水改修工事の概要とスケジュールについて。また、利用者への影響について伺います。	
	Ⅱ. 保健・医療・福祉～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城	
21	健康づくりの推進について	
	市内乳幼児施設等への新型コロナウイルス感染症対策として、各施設に抗原検査キットを整備するとの事ですが、経緯と効果について伺います。	

2 2	地域福祉の更なる展開について	
	第四次稲城市保健福祉総合計画の策定の内容と特徴について伺います。	
2 3	高齢者福祉の充実について	
	IoT 電球及びインターネット回線を利用した見守りセンサーを活用した見守り事業の試行について、実施に至る背景と事業の概要について伺います。	
2 4	稲城市高齢者福祉計画・稲城市介護保険事業計画（第9期）の策定について	
	稲城市高齢者福祉計画・稲城市介護保険事業計画（第9期）の策定に向けた取り組みについて伺います。	
2 5	障害者（児）福祉の充実について	
	稲城市発達支援センター分室の整備の概要について伺います。	
2 6	生活困窮者への生活の安定と自立への支援について	
	生活困窮者自立相談支援事業における、就労準備支援と家計改善支援の内容と効果について伺います。	
	Ⅲ. 環境・経済・観光～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城	
2 7	循環型社会づくりへの取り組みについて	
	令和5年度よりプラスチック廃棄物の再資源化事業を開始するとある、新たに作成するプラスチック廃棄物用の指定収集袋は、市民の協力を仰ぐためにも「可燃ごみ」「不燃ごみ」の半額にすべきと考えるが、市の見解を伺います。	
2 8	長期的視点での一般廃棄物処理について	
	第三次稲城市一般廃棄物処理基本計画の策定に向けての市の姿勢について伺います。	

29	自然環境の保全と緑の創出について	
	第四次稲城市緑の基本計画の策定に向けての取り組みとスケジュールについて伺います。	
30	緑を守る施策について	
	これまでの「ナラ枯れ」対策の取り組みと、今回の制度の内容について伺います。	
31	コロナ禍における公園環境の整備について	
	令和4年度に整備対象になる公園及び遊具について伺います。	
32	インクルーシブパークについて	
	吉方公園の改修整備の概要と方針。市民協働による検討の柱としてのワークショップのあり方とインクルーシブ遊具の選定について伺います。	
33	持続可能な都市農業の振興について	
	稲城市産農産物利用飲食店等応援プロジェクトの概要について伺います。	
34	ハード面で持続可能な都市農業を支える事業について	
	大丸用水沈砂池水門等改修工事の概要について伺います。	
35	商工業の活性化について	
	デジタル商品券事業の概要と従来の商品券との併用によるメリットについて伺います。	
36	コロナ禍における市内事業者の支援について	
	第4弾となる 頑張れ！稲城の事業継続支援金の概要と第3弾までの実績と効果について伺います。	
37	スポーツ・レクリエーション活動の振興について	
	稲城中央公園総合体育館2階通路屋根防水改修工事の概要と利用者への影響について伺います。	
38	自転車のまち稲城による観光の振興について	

	東京 2020 オリンピック競技大会自転車競技ロードレースのオフィシャルスタート地点への観光案内標識の設置とサイクリングマップの作成及び新たなオリジナルキャラクターの着ぐるみの制作とあるが、それぞれの概要と新たなオリジナルキャラクター着ぐるみの制作の目的と活用方法について伺います。	
	IV. 都市基盤整備・消防・防犯～安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城	
3 9	計画的で適切な土地利用の推進について 都市計画マスタープランの見直しの現状と令和4年度の改定に向けた取り組みについて伺います。	
4 0	土地区画整理事業による矢野口のまちづくりについて 榎戸地区及び矢野口駅周辺地区の整備の具体的な事業の概要について伺います。	
4 1	土地区画整理事業による稲城長沼駅周辺地区のまちづくりについて 駅周辺等の建物移転事業の進捗状況と関係権利者の意向に配慮した事業の推進について伺います。	
4 2	土地区画整理事業による南多摩駅周辺地区のまちづくりについて 道路や公園の位置の見直しの方向性と関係権利者等からの意見聴取について見解を伺います。	
4 3	土地区画整理事業による南山東部地区のまちづくりについて 都市計画事業決定による特定財源を有効活用して、総事業費の見直しを行い、幹線道路の整備や宅地の整備を行うと共に早期の公園整備が必要であると認識しているが、組合への支援・指導について伺います。	

4 4	防災性の向上と景観の保全について	
	稲城市無電柱化推進計画を策定する目的と意義について伺います。	
4 5	市街地の再生について	
	稲城市マンション管理適正化推進計画策定の概要について伺います。	
4 6	平尾団地の再生について	
	平尾団地の再生に向けた基本構想図の作成の概要と今後の支援について伺います。	
4 7	道路網の整備促進について	
	矢野口地区における読売ランド線の整備及び新たに検討中の都県境区間の整備の内容について伺います。また、多摩都市計画道路7.5.3号宿榎戸線の川崎街道から鶴川街道までの区間の整備について伺います。	
4 8	生活に関わりの深い道路整備について	
	百村地区の長年の課題である道路整備事業において、東京都の事業である鶴川街道百村区間に接道する市道10号線及び533号線の整備について伺います。 また、坂浜地区の市道638号線の拡幅及び新設道路の整備と市道11号線の拡幅整備について伺います。 また、押立地区の稲城第四小学校南側の市道1407号線の整備について伺います。	
4 9	適切な道路の維持管理について	
	道路の陥没を未然に防ぐため、道路下の空洞調査について伺います。	
5 0	交通環境の向上について	
	地域公共交通事業者の支援についての概要とiバス車両2台購入の財源について伺います。	
5 1	衛生環境の向上について	
	汚水排水整備区域の現状と今後の取り組みについて伺います。	

5 2	総合的な水害対策の推進について	
	押立堀排水機場の吐出弁等の交換工事の内容と工事期間について伺います。	
5 3	消防体制の充実について	
	水難・水防活動車の整備の内容、水難事故に対応するための消防機動力の強化に向けての取り組みについて伺います。	
5 4	消防団員の処遇改善について	
	消防団員の確保が稲城市の消防体制を維持するために非常に重要であると認識しています。そこで、消防団員の出勤報酬の見直しを行い、処遇改善を図るとあるが、見直しの内容について伺います。 また、地域での活動への対応について伺います。	
	V. 市民・行政～みんなでつくる 持続可能な市民のまち 稲城	
5 5	コミュニティの育成支援について	
	東長沼自治会館の空調設備の更新補助について伺います。	
5 6	都市間交流・多文化交流の推進について	
	稲城市姉妹友好都市交流協会が予定しているフォスターシティ市への訪問事業の概要と事業費補助について伺います。	
5 7	健全な行財政運営について	
	旧第一調理場跡地の整理による道路の新設や区画の整理と市有地の有効活用について概要を伺います。	
5 8	情報システムを活用した行政サービスの向上について	
	保育料の日割り計算を迅速に対応するための保育システムの改修の経緯と見込める効果について伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新しい資本主義について</p> <p>わが国の令和4年度一般会計予算は、令和3年度補正予算と一体として、新型コロナ対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るための予算とありますが、本市の政策への反映の考え方について伺います。</p>	
2	<p>気候変動問題について</p> <p>台風・洪水・干ばつなどの異常気象は、気候災害を引き起こし、世界では、2000年からの20年間で、気候変動による災害が82%も増大したと言われています。気候変動は今、先進国や途上国を問わず、世界中の人々の安全を脅かす問題となっていますが、気候変動問題に対する認識を伺います。</p>	
3	<p>デジタル田園都市国家構想について</p> <p>国においては、成長戦略の第一の柱に、デジタルを活用した地方の活性化として「デジタル田園都市国家構想」を掲げていますが、デジタル田園都市国家構想についての認識と本市の政策への反映の考え方について伺います。</p>	
4	<p>ウィズコロナ・アフターコロナについて</p> <p>令和4年度予算編成の基本の柱の第一に、「新型コロナウイルス感染症から、市民の生命、生活を守っていくとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中での行政課題に取り組むこと」とありますが、ウィズコロナ・アフターコロナの社会をどのように捉えられているのか。また、本市における行政課題について認識を伺います。</p>	
5	<p>新型コロナウイルス感染症の影響について</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症が収束するかどうか、先行きも不透明ですが、令和4年度において、長引く新型コロナウイルス感染症の蔓延が市内の経済、市民の暮らしにどのような影響があるかと考えるのか、認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
6	<p>I. 子育て・教育・文化の分野について</p> <p>(1) 保育所等における医療的ケア児保育支援事業について、どのように保育体制の充実を図られるのか伺います。</p> <p>(2) 学童クラブの需要増に伴う緊急対策として、学童クラブの受入定員の拡大や南山小学校学童クラブの増築工事、第三文化センター内への学童クラブの新設など、待機児童解消に向けた取組みに期待する一方で、保育の質の確保・向上も重要であると考えます。学童クラブの保育の質の確保・向上にはどのように取り組まれるのか伺います。</p> <p>(3) 産後ケア事業の実施機関を拡充し、多様な市民ニーズに柔軟に対応するとありますが、多様な市民ニーズをどのように捉えられているのか。また、実施機関を拡充する目的について伺います。</p> <p>(4) コミュニティ・スクールの導入について、学校と地域の関係性はこれまでと、何がどのように変わっていくことを目指しているのか。市の考える将来像について認識を伺います。また、コミュニティ・スクールについての市民への周知方法と保護者や地域の意見をどのように収集し、反映していくのか伺います。</p> <p>(5) 高度な専門性をもつ外部人材を小学校の一部の授業に活用することについて、どのような教育の質の向上を期待しているのか伺います。</p> <p>(6) 学校施設・設備については、子どもたちが安全に快適に学ぶ環境を確保するためにも、第五次稲城市長期総合計画の中で着実に改修・更新を進めていただくことを求めてきましたが、令和4年度に稲城第三小学校校舎建物の老朽化の状況調査と、稲城第二中学校の屋上防水及び外壁改修工事設計を行う理由と具体的な内容、スケジュールについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
7	<p>(7) 稲城第四小学校、平尾小学校及び南山小学校への普通教室の整備内容とスケジュールについて伺います。</p> <p>(8) 第四次稲城市生涯学習推進計画については、長引く新型コロナウイルス感染症の蔓延が第三次稲城市生涯学習推進計画に与えた影響を点検し、ウィズコロナの新しい社会に対応した学びを考慮していく必要があると考えますが、認識を伺います。</p> <p>II. 保健・医療・福祉の分野について</p> <p>(1) 市内乳幼児施設や学校などの施設に抗原検査キットを整備することについて、活用方法を伺います。</p> <p>(2) 第四次稲城市保健福祉総合計画については、新型コロナウイルス感染症等の感染症対応について計画の中に位置付けていく必要があると考えますが、認識を伺います。</p> <p>(3) IoT電球及びインターネット回線を利用した見守りセンサーの活用による見守り事業を実施することによる効果と本事業を実施する背景について伺います。</p> <p>(4) 稲城市高齢者福祉計画・稲城市介護保険事業計画策定に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施方法とスケジュールについて伺います。</p> <p>(5) 稲城市発達支援センターの整備について、幼少期からの切れ目のない発達に関する相談支援の充実が期待されます。稲城市発達支援センター分室の整備をおこなう経緯と目的について伺います。</p> <p>(6) 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい生活を強いられている方への支援は喫緊の課題であると考えます。令和4年度では、令和3年度に引き続き、福祉くらしの相談窓口の相談員を増員すること、また、新たに、就労準備支援や家計改善支援を行うとありますが、新たに支援をはじめるときの経緯と目的について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
8	<p>Ⅲ. 環境・経済・観光の分野について</p> <p>(1) 第三次稲城市環境基本計画について、コロナ禍で第二次の計画に遅れが生じていなかったのか。また新たな計画のポイントについて伺います。</p> <p>(2) プラスチック廃棄物の再資源化事業を開始するにあたり、ごみ指定収集袋の作成等とありますが、自治体によっては指定の収集袋ではなく、透明や半透明の袋などで回収しているところもあります。本市においては、これまでにどのような議論があり、ごみ指定収集袋の作成に至ったのか伺います。</p> <p>(3) ナラ枯れについて、令和2年から市内でも発生し、被害の拡大防止に努めていただいておりますが、被害の状況と今後、さらに拡大が懸念されるのか。被害についてどのような想定をされているのか認識を伺います。</p> <p>(4) だれもが遊べる公園（インクルーシブパーク）として改修整備を行うため、ワークショップを組織し、市民協働による検討を行うとありますが、市としてワークショップをおこなうことについて、どのようなことを期待されているのか伺います。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、紙の商品券と併行してデジタル商品券事業を実施することとありますが、費用対効果をどのように見込んでいるのか伺います。</p>	
9	<p>Ⅳ. 都市基盤整備・消防・防犯の分野について</p> <p>(1) 榎戸地区について、宿榎戸線の電線共同溝整備工事や建物移転等の内容とスケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 矢野口駅周辺地区について、旧スーパー堤防C工区内等における換地変更や駅北側の建物移転、道路築造の内容とスケジュールについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 稲城長沼駅周辺地区について、駅周辺等の建物移転等や駅前通り線の道路築造工事等の内容とスケジュールについて伺います。</p> <p>(4) 南多摩駅周辺地区について、遺体保管所の早期移転や公園整備が地域住民より求められています。今後の見通しについて伺います。</p> <p>(5) 南山東部地区について、バスの早期運行や公園整備、通学路となっているヤオコー南山店前の信号機設置が地域住民より求められています。今後の見通しについて伺います。</p> <p>(6) 稲城市無電柱化推進計画について、現在の稲城市の無電柱化率と計画策定の背景と目的、概要について伺います。</p> <p>(7) 稲城市マンション管理適正化推進計画について、計画策定の背景と目的、概要について伺います。</p> <p>(8) 平尾団地の再生に向けた支援の概要と、団地再生の基本構想図作成に地域の意見を取り入れる事についての基本的な考え方について伺います。</p> <p>(9) 読売ランド線について、現在整備予定の無い都県境区間の整備を東京都と連携しながら検討を進めるとありますが、整備が必要となる理由について伺います。</p> <p>(10) 多摩都市計画道路7・5・3号線宿榎戸線について、川崎街道につながる交差点において、すでに東側には信号機が設置されていますが、事故が起こらないよう交差点信号機の設置を望む声があります。今後の対策について伺います。</p> <p>(11) 消防体制の充実について、より短時間に充填できる可搬式空気充填機を整備するとありますが、目的と効果について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
10	<p>市民・行政の分野について</p> <p>(1) 都市間交流・多文化交流の推進について、姉妹都市・友好都市について広く市民へ周知するために、道標を設置するとありますが、道標設置の効果について伺います。</p> <p>(2) 市民からの申請書類の事務処理について、A I・O C R及びR P Aの技術を導入し、業務の一部自動化を試行で実施するとありますが、目的と効果について伺います。</p> <p>(3) デジタルデバイド対策について、ウィズコロナ・アフターコロナで今後もますますI C T化が進む情報社会で、世代間の格差を生まないための支援は必要であると考えます。本市におけるデジタルデバイドの課題の認識と、スマートフォン教室を実施することの効果について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
3	公明党	佐藤 しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>本市の取り組み</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症から、市民の生命、生活を守っていくとともに、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた中での行政課題に取り組むこととあります。行政課題を伺います。</p> <p>(2)第五次稲城市長期総合計画基本構想に定める将来都市像の実現に向け、基本計画に掲げる各種施策の取り組みを進めるとあります。持続可能な行財政運営に取り組むこととあるが市の見解を伺います。</p> <p>(3)市民の安全を最優先に引き続き、防災・減災対策に計画的に取り組むとあります。そこで、計画に対する市の考え方を伺います。</p>	
2	<p>子育て・教育・文化～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城</p> <p>(1)医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行に伴い、保育所等における医療的ケア児保育支援事業を実施とあります。公明党といたしましても法整備から強く推進してきたところです。保育体制の充実を図っていくとあるが、市の見解を伺います。</p> <p>(2)放課後児童の健全育成事業について公明党は、放課後子ども教室の実施など様々な視点で強く訴えてまいりました。放課後児童の健全育成事業への取り組みとして、抜本的な市の考え方について伺います。</p> <p>(3)育ち育てる相談・支援体制の充実については、産後に地域で安心して育児が出来るよう、産後ケア事業の実施機関を拡充し、多様な市民ニーズに柔軟に対応するとありますが、どのような取り組みか伺います。</p> <p>(4)子育て世帯臨時特別給付金を国事業の対象外となる令和4年4月1日生まれの児童にも給付していく事に評価致します。期待される効果について伺います。</p> <p>(5)これまでの地域教育懇談会と学校における取組を維持しながら、新たに学校運営協議会制度を導入し、全小中学校をコミュニティ・スクールとする義務教育の内容の充実に対し、公明党が提案してきたことから、評価致します。どのような効果を期待しているのか伺います。</p> <p>(6)高度な専門性をもつ外部人材を小学校の一部の授業に活用することで、教育の質の向上を図るとともに教員サポートとあるが、取り組みについて伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(7)学校施設・設備においては、今後の整備方針の検討や老朽化の状況による優先順位など市の考え方を伺います。</p> <p>(8)市内の児童数の増加により普通教室の不足が見込まれるため、学校校舎増築工事の設計を行う考え方について伺います。</p> <p>(9)第四次稲城市生涯学習推進計画の策定における特色を伺います。</p> <p>(10)市民の生涯学習活動の場となる施設において、老朽化対策の計画について伺います。</p> <p>保健・医療・福祉～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城</p> <p>(1)地域福祉の展開については、第四次稲城市保健福祉総合計画を、社会福祉法に基づく市町村地域福祉計画に相当する計画として策定していくことに対する市の見解を伺います。</p> <p>(2)在宅高齢者の見守りの補完として、公明党が提案した見守りセンサーの活用による見守り事業が試行的に実施されることを大いに評価致します。試行的実施方法について伺います。</p> <p>(3)稲城市高齢者福祉計画・稲城市介護保険事業計画（第9期）策定に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について市の見解を伺います。</p> <p>(4)幼少期から発達段階や特性に応じた切れ目のない支援を可能とする体制の充実を図り、発達障害に関する相談により適切に対応する、稲城市発達支援センター分室の整備を大いに評価致します。稲城市発達支援センター分室の整備について期待される効果を伺います。</p> <p>(5)生活困窮者に対する相談支援の充実は、増加傾向にある事から令和3年度に引き続き、福祉くらしの相談窓口の相談支援員を増員し、きめ細やかな相談に応じていただけることを高く評価致します。新たに就労準備支援や家計改善支援を行うことについて、取り組みの効果を伺います。</p>	
4	<p>環境・経済・観光～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城</p> <p>(1)公明党は「環境の党」として、気象変動対策の推進・脱炭素化の促進に取り組んでいます。第三次稲城市環境基本計画策定の目的と策定に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(2)循環型社会の実現に向け、プラスチック廃棄物の再資源化事業が令和5年度より開始されます。事業への取り組み姿勢について伺い</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>都市基盤整備・消防・防犯～安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城</p> <p>(1) 稲城市都市計画マスタープラン改定に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 現在矢野口駅北側の工事が進んでいる状況が見受けられます。整備の現状と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(3) 公明党の推進で成立した「無電柱化推進法」を踏まえ、令和3年5月、国土交通省は2025年度までの無電柱化推進計画を策定しました。稲城市無電柱化推進計画の策定にあたり、まちなみ景観の保全の考え方について伺います。</p> <p>(4) 平尾団地の再生に向けた支援として、基本構想図の作成とありますが、概要について伺います。</p> <p>(5) 総合的な水害対策の推進として、浸水被害を防ぐための押立堀排水機場の修繕計画について伺います。また、地域を浸水被害から守るための護岸改修等の概要について伺います。</p>	<p>ます。</p> <p>(3) 第三次稲城市一般廃棄物処理基本計画の策定に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(4) 第四次稲城市緑の基本計画の策定にあたり、方針・スケジュール等について伺います。</p> <p>(5) 公明党は公園施設や遊具の維持管理の重要性を訴えてまいりました。この度、老朽化した遊具を中心に更新が行われることを評価致します。遊具を更新した公園選定の考え方について伺います。</p> <p>(6) 吉方公園はインクルーシブパークとして整備をするに際し、市民協働の検討が行われることに期待致します。インクルーシブパークの市内展開について考え方を伺います。</p> <p>(7) 稲城市産農産物利用飲食店等応援プロジェクトの立ち上げは、市内農家や飲食店等の応援につながることから、評価致します。この事業の期待される効果について伺います。</p> <p>(8) 公明党はキャッシュレス決済を提案推進してきたことから、デジタル商品券事業の開始に対し、大いに期待致します。事業の目的について伺います。</p> <p>(9) 賑わいの創出による観光のまちづくりの展開について、市の姿勢を伺います。</p>

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
6	<p>(6)水難・水防活動車を整備することで期待する効果について伺います。</p> <p>(7)可搬式空気充填機を整備することの概要と期待する効果について伺います。</p> <p>市民・行政～みんなでつくる 持続可能な市民のまち 稲城</p> <p>(1)都市間交流・多文化交流の推進としての姉妹都市・友好都市の道標の設置について概要を伺います。</p> <p>(2)旧第一調理場跡地整理事業の概要について伺います。</p> <p>(3)教育委員及び農業委員へのタブレット端末の貸与について、導入効果を伺います。</p> <p>(4)市民からの申請書類の事務処理の一部自動化が試行されることに期待致します。AI・OCR及びRPAの技術を導入される効果について伺います。</p> <p>(5)公明党はデジタルデバイド対策の強化を求めてまいりました。市民向けのスマートフォン教室の実施を評価致します。実施する理由、またその実施方法と効果について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>施政方針における市長の政治姿勢を問う</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症から 市民の生命と暮らしを守る取り組みについて</p> <p>施政方針では、令和4年度の予算編成にあたり「第一に、新型コロナウイルス感染症から、市民の生命、生活を守っていくとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中での行政課題に取り組むこと」と述べています。</p> <p>感染拡大を抑え、生命と暮らしを守り、社会経済活動を継続していくためにも、ワクチン接種の推進、定期的な PCR 検査体制の整備と保健所・医療体制の強化が重要と考えますが認識は。</p> <p>(2) 防災・減災対策に計画的に取り組むことについて</p> <p>令和4年度の予算編成にあたり「第三に、市民の安全を最優先に、引き続き防災・減災対策に計画的に取り組む」と述べています。</p> <p>地震列島の日本で、いつ発生してもおかしくない地震への対応は、日ごろの備えが大切です。</p> <p>耐震補強、家具転倒防止、「スフィア基準」をいかし、感染防止対策を考慮した避難所の改善、避難準備、在宅避難の備えなど、地震への備えを、多くの市民が、日ごろから、取り組んでいけるように支援していくことが重要と考えますが基本姿勢は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 向陽台小学校学童クラブの民営化について</p> <p>「向陽台小学校の学童クラブの民営化を行う」と述べていますが、子どもたちの安全確保や学童期の健やかな成長、発達支援への公的責任をどう果たしていくのか。</p> <p>(4) 学童クラブの受け入れ定員の拡大について</p> <p>「学童クラブの需要増に伴う緊急対策として、学童クラブの受け入れ定員拡の拡大・・・」と述べています。</p> <p>この間、子どもが学童に入れなくて困っているという声を届け、学童の定員増を求めてきました。</p> <p>令和4年度は受け入れ定員を161人拡大し、受け入れ定員を1016人とする予定ということですが、学童クラブに申し込んだ家庭がみんな入れるように対応すべきと考えますが基本姿勢は。</p> <p>(5) 小学校の一部の授業に外部人材を活用することについて</p> <p>「高度な専門性をもつ外部人材を小学校の一部の授業に活用することで、教育の質の向上を図るとともに教員をサポート」と述べています。</p> <p>私たちは、子どもたちの学びを保障し、教員の長時間労働を解消するためには、1人の教員が受け持つ業務を減らすこと、教員を抜本的にふやすことを求めてきました。</p> <p>外部人材の小学校の一部の授業への活用による、子どもたちの学びの保障と教員の長時間労働解消への効果について認識は。</p> <p>(6) 学校等の抗原検査キットの整備</p> <p>「市内の乳幼児施設、学校等の施設における新型コロナウイルス感染症対策として、各施設に抗原検査キットを整備」と述べています。子どもも教職員も安心して学校に通えるように定期的な検査をと求めてきました。乳幼児施設、学校等の抗原検査キットの整備数と使用方法、および、定期的に検査することが重要と考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(7) 生活困窮者支援について</p> <p>「長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮する方が依然として増加傾向にあることから、令和 3 年度に引き続き、福祉くらしの相談窓口の相談支援員を増やし、きめ細かな相談に応じていく」「また、新たに就労準備支援や家計改善支援を行い、自立に向けた支援をしていく」と述べています。</p> <p>新型コロナの長引く影響で、仕事や住居を失う、収入が減るなど、厳しい状況におかれる市民が増え、相談支援は重要です。生活に困窮する方の増加の状況と相談の主な内容と相談、支援の具体的な取り組みは。</p> <p>(8) 第三次稲城市環境基本計画の策定について</p> <p>施政方針で述べている「2050年カーボンニュートラルの実現」に向け、温室効果ガスの発生抑制、省エネルギー・省資源、再生可能エネルギーの活用といった地球環境に与える負荷を減少させる取り組みは重要です。第三次稲城市環境基本計画では、これらの取り組みの数値目標を明確にしていくことが重要と考えますが認識は。</p> <p>(9) 第四次稲城市緑の基本計画策定について</p> <p>市民意識調査では、稲城に住み続けたい理由として、「自然環境が良い（緑や用水・農地など）」が 77%と最も高くなっています。</p> <p>稲城の自然環境の良さを次の世代に継承することは重要です。</p> <p>第四次稲城市緑の基本計画策定にあたっては、「水と緑の継承と創造」という緑の基本計画の理念の継承とともに、生物多様性の保全、気候変動および地球温暖化防止対策の視点、災害時の防災機能の視点を含めて、総合的に検討していくことが重要と考えますが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(10) 頑張れ！稲城の事業継続支援金（第4弾）について 「新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した市内事業者に対し、頑張れ！稲城の事業継続支援金（第4弾）を支給することで、更なる支援を実施」と述べています。</p> <p>厳しい状況におかれている事業者が、必要としている支援が受けられるように取り組む必要があると考えますが基本姿勢は。</p> <p>(11) 都市計画マスタープランの改定について 「都市計画マスタープランの見直し作業を進め、令和4年度の改定に向けて取り組む」と述べています。改定にあたって、都市計画マスタープランに沿った土地利用、住民意見を尊重したまちづくりを進めるために、開発事業の事前の情報提供、手続の明確化、市民参画などを定める、まちづくり条例制定に向けて検討を進めていくべきと考えますが認識は。</p> <p>(12) 南山をはじめ開発優先から 暮らし優先の市政運営への転換について 南山東部地区の区画整理事業への支援など、開発優先の市政運営から、くらし・福祉・教育・環境優先の市政運営への転換を、引き続き求めますが基本姿勢は。</p> <p>(13) iバスについて 「利用者が減少し、厳しい経営環境にある地域公共交通事業者を支援するため、老朽化したiバス車両2台について、換気機能を向上した車両への更新を行い、安心して利用できる市内バス交通網の維持に努める」と述べています。</p> <p>安心して利用できる市内バス交通網の維持は重要です。長引くコロナ過のもと、外出自粛などの影響で、利用者は減っていますが、iバスを日常的に利用している高齢者には、買い物や病院への通院など、欠かせない大切な足となっていると考えますが認識は。</p>	

通告番号	会派名	氏名
5	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市を取り巻く情勢について</p> <p>(1) COP26 では気候変動対策に関し、大きな一歩を踏み出した一年であった、とあるが、環境対策に力を入れている稲城市としても、世界的な気候変動対策の進展を注視していると考えます。気候変動対策を進める上では、同じ価値観を有する国との連携と国際協調をどうバランスをとるか等、難しい舵取りが求められる。SDGs の実現を目指すにしても、環境保護の実現のために、人権侵害や武力行使を容認する国とも協調しなければならない、といったことも起こり得る。環境保護と国際協調のバランスについて、市長自身はどのようなご所見をお持ちか、伺いたい。</p> <p>(2) 国の令和 4 年度一般会計予算は、新型コロナ対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るための予算、とあるが、これまで一部の政党や専門家が主張していた“ゼロコロナ”を目指しては経済が立ち行かなくなると考える。新型コロナ対策と経済の両立について、市長自身はどのようなご所見をお持ちか、伺いたい。</p>	
2	<p>稲城市政及び市財政について</p> <p>(1) 令和 4 年度予算編成の基本方針として、新型コロナウイルス感染症から市民の生命・生活を守るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた行政課題に取り組む、とあるが、その実現には、過度な規制や自粛に頼るのではなく、科学的根拠に基づく適切な判断がより重要になると考える。これについて、市長自身はどのようなご所見をお持ちか、伺いたい。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2) 歳入の根幹である市税については、前年度比7.4%増の160億8764万円であり、その増要因は納税義務者数増による個人市民税の増収と、都市基盤整備の進捗に伴う新築家屋増による固定資産税の増収のため、とあるが、市施行・組合施行の土地区画整理事業を始め、稲城市が都市基盤整備に取り組んできた成果ではないかと考える。これまでの市の取り組みを開発中心と批判する方もいるが、このような成果は正しく評価すべきだと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
	<p>(3) 歳入の市債が13億9551万円減と前年度比約75%減となっていることは健全な財政運営のためには好材料と言えるが、施政方針の内容を見ると、設計段階の支出が多く、起債できる事業が少なかっただけの、一時的な減少ではないか推察する。一方で歳出の公債費は5158万円の微減に留まっていることから、今後起債するにしても、負債を適正範囲に留める難しい舵取りが求められると考えるが、起債と公債費のバランスに関して、市の見解を伺う。</p>	
	<p>(4) 歳出の扶助費4億4094万円増となっている。今後、稲城市では高齢化の進展と子育て世帯の増加により、社会保障関係の支出は着実に増加していく。高齢者支援、子育て支援、障害者支援といった必要な行政サービスを維持していくことは重要だが、対象者増に伴う支出増とどのように折り合いをつけていくのか、市の見解を伺う。</p>	
3	令和4年度予算について	
	<p>(1) 子育て・教育・文化～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城</p>	
	<p>① 義務教育内容の充実として、新たに学校運営協議会制度を導入、全小中学校をコミュニティ・スクールとする、とある。コミュニティ・スクール導入の目的としては、</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>地域との連携や特色ある学校づくりが考えられるが、稲城市は既に地域教育懇談会や学校運営連絡協議会制度、ESDの取組み等で既に一定の成果は挙げていると認識している。なぜ今新たな仕組みを導入するのか、現在の取組み・仕組みにどのような課題があるのか、小中一貫校の取組みを行うことも想定しているのか、市の考えを伺いたい。</p>	
	<p>② 学校施設・設備の整備として、稲城第二中学校の屋上防水と外壁改修工事の設計に取り組んでいただけることは大いに評価したい。設計だけでなく、できるだけ速やかに工事の実施まで進むことを希望する。設計段階で、学校や生徒・保護者の声もできる限り取り入れていただきたいと考えるが、市の考えを伺う。</p>	
	<p>③ 生涯学習の推進として、第四次稲城市生涯学習推進計画の策定、とある。稲城市の生涯学習は市民自らが主体的に関わる“にないあい”によって発展してきたが、近年は担い手の高齢化・固定化が課題だと認識している。若い世代や新たな市民、定年退職等で新たに地域デビューされた方などにも開かれた生涯学習を目指すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>	
	<p>(2) 保健・医療・福祉～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城</p>	
	<p>① 地域福祉の展開として、第四次稲城市保健福祉総合計画の策定に着手、とあるが、稲城市では、地域のみんなで支え合う、担い手となる人材の確保・育成に努める、という方針で進めていくのだと考えている。必要としている方に適切な支援が提供できるような計画を望む一方で、支える側・担い手となる側に過度な期待や負担をかけるような内容にならないように留意すべきと考えるが、市の考えを伺いたい。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>② 高齢者福祉の充実として、IoT電球及びインターネット回線を利用した見守りセンサーを活用した見守り事業の試行、とある。対面による見守りの補完という位置づけとのことだが、新型コロナ対応で保健所がアナログ業務でパンクした例を見ても明らかなように、福祉の現場では、人手をかけず効率よく対応できる仕組みを整えることが、一番の課題だと考える。このような省力化・自動化はもっと積極的に進めて、節約できたマンパワーをよりきめ細かい対応が必要な方に集中させる、という方針で進めていくことを希望するが、市の考えを伺いたい。</p>	
	<p>(3) 環境・経済・観光～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城</p>	
	<p>① 環境負荷の低減と地球温暖化対策の推進として、第三次稲城市環境基本計画を策定する、とある。稲城市においても市民と協働で地球温暖化対策に取り組むことは素晴らしいことだと考えるが、その一方で、レジ袋有料化のようにプラごみ削減にはあまりつながらないような取り組みについては、無条件に推奨するような内容にはしてほしいと考える。これについて市の考えを伺いたい。</p>	
	<p>② 循環型社会づくりとして、第三次稲城市一般廃棄物処理基本計画を策定する、とある。市および市民が4R+1に取り組むための基本方針を示す計画だと理解しているが、環境基本計画と同様に、その実効性をどのように担保していくのかが重要だと考える。例えばリサイクルに取り組むにしても、コストや必要なエネルギーも考慮し、リサイクルしない選択もあることも伝えるような内容にしていきたいが、市の考えを伺いたい。</p>	
	<p>③ 自然環境の保全と緑の創出として、第四次稲城市緑の基本計画を策定する、とあるが、中長期的な視点か</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ら緑地の適正保全や緑化推進に取り組むものと理解している。市内の緑地には、ゴルフ場や多摩サービス補助施設など市民が日常的に触れることができないものも含まれる。市民が緑の多さを実感するためには、日常的にアクセス可能な緑地を充実させる取り組みが必要と考えるが、市の認識を伺いたい。</p>	
	<p>④ 水と緑・公園の魅力向上として、吉方公園をインクルーシブパークとして改修整備するためのワークショップを組織する、とある。ワークショップは市民の声を聞くのに、非常に優れた方法だと認識しているが、その一方でうまく運営しないと「ワークしないワークショップ」になる場合が多々ある。声の大きな人の意見に流されたり、高い理想を目指しすぎて実現性の低い案になったり、逆に無難な当たり障りのない案になったり、と効果的に運営するには運営スキルや参加者の人選が重要だと考える。これについて市の考えを伺いたい。</p>	
	<p>(4) 都市基盤整備・消防・防犯～安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城</p>	
	<p>① 計画的で適切な土地利用の推進として、都市計画マスタープランの見直し作業を進め、令和4年度に改定、とあるが、まちづくりの将来像を描くのがマスタープランの役割だと認識している。サステイナブルな発展が求められる現代では、高い目標を掲げてそれを目指すよりも、稲城市の身の丈に合わせた、実現可能な内容にすべきと考えるが、市の認識を伺いたい。</p>	
	<p>② 市街地の整備として、稲城市無電柱化推進計画の策定を行う、とある。土地区画整理等で新たに開発する地域と異なり、既成市街地の無電柱化は、道路の拡幅工事などの機会を捉え、電線共同溝を設置していく等、実現まで長い時間がかかると考える。既成市街地の無電柱化についてどう考えているのか、伺いたい。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>③ 市街地の再生として、稲城市マンション管理適正化推進計画の策定を行う、とあるが、高経年マンションの老朽化と住民の高齢化による管理組合活動の担い手不足への対策と理解している。様々な考え・経済状況の住民がいる中で、マンション全体の視点から適正管理の必要性を周知し、住民の主体性を引出し、合意形成を図るのは難しい課題だと考える。市としてどのような支援が必要と考えているのか、伺いたい。</p>	
	<p>④ 同じく市街地の再生として、平尾団地再生に向け基本構想図の作成に着手、とあるが団地再生には様々な考え方・立場の住民の思いをどう取り込むか、といった視点が重要だと考える。住民と真摯に向き合う調整を誰がどう行うのか、市の認識を伺いたい。</p>	
	<p>(5) 市民・行政～みんなでつくる 持続可能な市民のまち 稲城</p>	
	<p>① 都市間交流・多文化交流の推進として、姉妹都市・友好都市の道標の設置、とあるが、非常によい取り組みだと評価している。このアイデアは高橋市長の発案とも聞いているが、どんな思いが込められているのか、確認したい。また姉妹都市・友好都市交流に関わる方の意見も是非取り込んでいただきたいが、そのような考えがあるのか、伺いたい。</p>	
	<p>② 情報システムを活用した行政サービスの向上として、教育委員会委員および農業委員会委員に対しタブレット端末の貸与を行う、とある。タブレット端末によるペーパーレス化を進めるにあたり、ICT 機器の利用に慣れていない方にとっても、より活用してもらうための配慮を行っていただきたいが、市の考えを伺いたい。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	改革稲城の会	岩佐 ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	本市の取り組み	
	(1) 財政環境の先行きを見通すことが難しいなかにも新たな市民ニーズに応えるべく、市民生活に直結する多くの事業を継続的に展開していかなければなりません、とありますが、新たな市民ニーズというのはどのようなものなのか、また、どのようにして市民ニーズに応じていくか伺います。	
	(2) 財源確保が厳しい状況が続いた中で、職員配置の適正化、業務改善などを行いながら、着実に計画事業を推進し、成果をあげたところです、とありますが、具体的な成果について伺います。	
1	子育て・教育・文化～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城	
	(1) 保育ニーズへの取り組みとして、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行に伴い、保育所等における医療的ケア児保育支援事業を実施するとあります。どのように実施するのか概要を伺います。	
	(2) 放課後の児童の健全育成事業の取り組みとして、向陽台小学校学童クラブの民営化、学童クラブの受入定員の拡大、南山小学校学童クラブ増築工事の設計委託、第三文化センター内への学童クラブ新設に向けた準備など、学童クラブの需要増に伴う緊急対策として対応した経緯と効果について伺います。	

	<p>(3) 育ち育てる相談・支援体制の充実については、産後に地域で安心して育児ができるよう、産後ケア事業の実施機関を拡充し、多様な市民ニーズに柔軟に対応するとあり、関係部署や地域の関係機関において、連携・協力が必要で地域の特性や強みを踏まえた対応が重要と考えますが、多様な市民ニーズに柔軟に対応していくには、具体的にどのように取り組んでいくのか具体的に伺います。</p>	
	<p>(4) 義務教育の内容の充実については、これまでの地域教育懇談会と学校における取り組みを維持しながら、新たに学校運営協議会制度を導入し、全小中学校をコミュニティ・スクールとするとあり、学校関係者・保護者・地域の方々が、子ども達の成長を支えるために一体となって取り組んでいけるのかなと考えておりますが、これまで取り組んできた内容との違いと具体的な制度の概要について伺います。また、コミュニティ・スクールを実施するにあたっての効果について伺います。</p>	
	<p>(5) 高度な専門性をもつ外部人材を小学校の一部授業に活用することで、教育の質の向上を図るとともに教員をサポートするとありますが、外部人材の確保はどのようにするのか、高度な専門性をもつとは、どのような人材なのか伺います。</p>	
	<p>(6) 学校施設・設備について、稲城第三小学校校舎建物の老朽化状況を調査し、今後の整備方針を検討するとともに、稲城第二中学校の屋上防水及び外壁改修工事の設計を行うとありますが、屋上防水及び外壁改修工事以外の整備については、どのように考えられているのか伺います。</p>	
II	<p>保健・医療・福祉～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城</p>	

	<p>(1) 健康づくりの推進について、市内乳幼児施設、学校等の施設における新型コロナウイルス感染症対策として、各施設に抗原検査キットを整備するとあり、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況においては、必要な対策だと思います。抗原検査キットを整備するにあたっては、管理場所や在庫個数、使用期限などの管理体制が重要になってくると考えますが、どのように管理されていくのか伺います。</p>	
	<p>(2) 高齢者福祉の充実については、在宅高齢者の対面による見守りを補完することを目的に、IoT電球及びインターネット回線を利用した見守りセンサーの活用による見守り事業を試行的に実施するとありますが、概要と特徴について伺います。また、緊急通報システムとの違いについて伺います。</p>	
III	<p>環境・経済・観光～水と緑に包まれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城</p>	
	<p>(1) 循環型社会づくりについて、更なるごみの減量及び再資源化の推進を目的として、令和5年度にプラスチック廃棄物の再資源化事業を開始するにあたり、ごみ指定収集袋の作成等を行うとともに市民等への事業開始に向けての周知啓発を実施していくとあります。プラスチック製品については、設計から処理に至るまでのライフサイクル全般を考える必要性があり、資源循環を促進していくことは大変重要であり、市民への理解と協力も必要と思われまます。事業開始に向けたスケジュールについて伺います。</p>	
	<p>(2) 自然環境の保全と緑の創出については、残された稲城の貴重な自然と緑を次世代に確実に引き継がなければならないことであり、あらゆる機会を通じて緑を生み出していく必要があると考えます。令和3年度で実施した緑被率調査をどの様に活かしていくのか、第四次稲城市緑の基本計画について伺います。</p>	

	<p>(3) 「ナラ枯れ」が広域的に発生していることから、薬剤・粘着剤の散布に加え、伐採処理等のナラ枯れ対策に係る経費の一部を補助する制度を創設するとありますが、ナラ枯れの現状と制度の内容について伺います。</p>	
	<p>(4) 商工業の活性化については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、紙の商品券と併行してデジタル商品券事業を実施することで、市外への消費流出を抑制し、市内経済の活性化に努めるとあり、稲城の事業者支援にも繋がるようにして頂きたいと思っておりますが、デジタル商品券事業の概要について伺います。また、併行するにあたっての事業者への周知について伺います。</p>	
IV	<p>都市基盤整備・消防・防犯～安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城</p>	
	<p>(1) 坂浜西地区地区計画に位置付けられた新ささらぎ橋から中橋までの区間につきましては、東京都の三沢川改修計画にあわせて、側道を整備するため、市道638号線の拡幅及び新設道路の整備に向けた道路詳細設計等を実地するとありますが今後のスケジュールについて伺います。</p>	
	<p>(2) 引き続き、狭あい道路の解消に向けた整備を進める、とありますが、令和4年度に整備する狭あい道路と整備スケジュールについて伺います。</p>	
	<p>(3) 押立掘排水機場の吐出弁等の交換を行い、内水による水害の防止に努めてまいりますとありますが、この押立掘排水機場の吐出弁の交換をする時期、事業概要、期待される効果について伺います。</p>	
V	<p>市民・行政～みんなでつくる持続可能な市民のまち 稲城</p>	

	<p>(1) 旧第一調理場の跡地整理として、地域の利便性や安全向上のため、道路の新設工事を実施し、行き止まり道路を解消するとともに、市有地の有効活用に向けて区画の整理等を実施してまいりますとありますが、整備スケジュールと工事内容、市有地はどのように利用し有効活用していくのか伺います。</p>	
	<p>(2) 市民からの申請書類の事務処理について、AI・OCR及びRPAの技術を導入し、業務の一部自動化を試行で実施してまいりますとありますが、この事業により、業務改善等の期待される効果について伺います。</p>	